

健やか ぐんま

Sukoyaka Gunma

vol.10

2015. 秋

Autumn!

がん征圧特集

2015年度 がん征圧全国大会 開催しました P2-3

がん征圧チャリティーウォークイベント

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015ぐんま実施報告 P4-6

財団からのお知らせ P7-8

- 【がん征圧】普及啓発活動について
- ストレスチェックのご案内
- 第3回群馬県地域保健研究発表会開催について
- 【あさを賞】募集について



公益財団法人 群馬県健康づくり財団

ロビーでは、群馬県、前橋市、群馬大学、リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま実行委員会の展示ブースを設置し、がん対策への取り組み状況を資料などで紹介しました。

午前10時に式典が開始され、群馬県健康づくり財団 月岡理事長が開会のことばを述べ、日本対がん協会 垣添会長のあいさつの後、厚生労働大臣、日本医師会長、群馬県知事、前橋市長より来賓祝辞をいただき、続いて表彰式に移りました。

がん征圧活動に功績のあった方々にお贈りする「日本対がん協会賞（個人5名、1団体）」と「朝日がん大賞」を受賞された方々が表彰状を授与されると、会場は大きな拍手に包まれました。群馬県からは本田攝子さんが、乳がん患者会の設立と長年の活動や群馬県がん患者団体連絡協議会の初代会長（現・顧問）として県内がん患者支援に尽力した功績が称えられ、受賞しました。また、2015年度がん征圧スローガン「健康が 自慢のあなたも がん検診」で入選した茨城県総合健診協会 石川知己さん、また全国に46支部ある日本対がん協会グループから60人の方が永年勤続表彰を受け、代表として群馬県健康づくり財団の長井美穂さん、がん征圧ポスターデザインコンテスト最優秀賞に選ばれた東海大学の関花恵さんがそれぞれ受賞しました。



アグネス・チャンさん講演会



来賓の方々



群馬県アピール

がん征圧全国大会に、参加させていただきまして、とても光栄に思います。

私達、保健推進員は、地域の皆様が、がんから大切な命を守る為に、がん検診を推奨、健康で安心して暮らせるように、思いを寄せ日々活動をしています。がん征圧全国大会が身近な前橋で開催され、たくさんの方々が、がん征圧に携わっている事を知り、頭が下がる思いを痛感致しました。

明るく元気な、アグネスチャンさんの印象でしたが、病気を体験した講演を聞いて、命の大切さを改めて教えてもらいました。そして、自分にとっても、また活動をしていく上でとても励みになりました。参加された皆様の思いと一緒にさせていただきまして、これからも、がん征圧のお役にたてるように、努力していく所存です。貴重な機会を与えていただきましてありがとうございました。

前橋市保健推進員協議会 会長 細川 和子

日本対がん協会ほほえみ大使アグネス・チャンさんの講演の機会をいただき参加しました。

アグネス・チャンさんの人柄と笑顔や美声の語らいに、満員の会場が惹きつけられました。

ご自身のがん発症・告知・治療へと進む中で、歌手活動・講演等の仕事や御子息・家族への思いなど、自らの体験を語られる講演は、がんについて改めて心に深く感じられた内容でした。

今、二人に一人ががん発症・罹患すると言われています。早期検診・受診の大切さを知る良い機会でした。

家族を始め、身近にいる人々の温かい見守りと思いやりに支えられ、アグネス・チャンさんの今が生きる勇気である事を知ることができました。

いつまでも美しい笑顔と優しさで御活躍を応援します。

群馬県食生活改善推進員連絡協議会 会長 渋澤 澄子



満員の会場



表彰状を受け取る本田さん

2015年度 がん征圧全国大会開催しました

～集い 語らい 想いは未来に～



9月4日(金)に2015年度がん征圧全国大会(群馬県大会)が、前橋市民文化会館において、公益財団法人日本対がん協会・公益財団法人群馬県健康づくり財団の主催で開催されました。

前日には関連行事として、ホテルラシーネ新前橋で、2015年度がん征圧全国大会支部長会議・記念シンポジウム・歓迎レセプションが行われました。

がん征圧全国大会は、各地でがん征圧活動をしている人たちが、年に一度、一堂に会して「がん征圧」への決意を新たにし、がん検診の重要性を訴え、全国の組織が一体となり、受診率50%を目指し取り組みを強化することを目的としています。今回が48回目の開催で、本県では初開催となりました。

9月3日(木)

9月3日(木)の支部長会議では、朝日がん大賞受賞記念講演として、一般社団法人日本がん治療認定医機構初代理事長今井浩三先生が「がん患者団体の要望を反映させたがん治療認定医制度の確立」についてご講演されました。

また、シンポジウムは、がん対策の柱である検診をテーマに住民の方々の健康に資するには、どのような検診を提供したらよいか、効果的・効率的に検診を実施するには何が必要か等について率直な意見を交わし今後のがん検診に役立てることを目的としています。



シンポジストの皆さん

県である群馬のおいしい水で造られた地酒などをご用意し、「がん征圧活動」をしている全国の方々と日頃の活動についてゆっくりと歓談しました。歓談の間には、群馬交響楽団金管五重奏の素晴らしい音色を楽しみました。



記念講演の様子

今回は、子宮頸がん検診におけるHPV検査・胃がん検診について、長時間にわたり活発な意見交換が行われ、シンポジストの1人として高崎市保健所の木村幸代さんにも参加いただきました。

歓迎レセプションでは、地元群馬県の新鮮な野菜や上州牛などの食材を使用した名物料理や水源



記念シンポジウム満員の会場



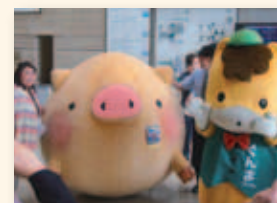
歓迎レセプションの様子

9月4日(金)

当日は、快晴の下、前橋市民文化会館大ホールにおいて、2015年度がん征圧全国大会が開催されました。

「集い 語らい 想いは未来に」をテーマに掲げ、全国各地から日本対がん協会関係者、県内からはがん患者団体関係者、群馬県食生活改善推進連絡協議会員、前橋市保健推進員、医療系大学学生、行政関係者、一般参加者など1,276名が参加しました。

ゆるキャラの「ぐんまちゃん」と「ころとん」が来場者を出迎え、開会前には客席が満員になる盛況ぶりでした。



ぐんまちゃん、ころとんがお出迎え



展示ブース

『雨雲を吹き飛ばしたサバイバー達の希望』

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2015 ぐんま

実施報告



10月17日(土)12時〜18日(日)12時 県総合スポーツセンターふれあいグラウンドにて本県3回目となる
リレー・フォー・ライフが開催されました。
リレーウォーク参加チームは69チーム、ステージイベント参加者、ボランティア、一般参加者を含めると2日間でのべ6850人の方が、がんに立ち向かうためのいのちのリレーをつなぎました。



サバイバズラップ・リレーウォークスタート

まずはサバイバズラップ。オーケストラ演奏に合わせて力強く歩むサバイバーの皆さんを拍手で称えます。続いて、各チームも周回を始め、24時間の「いのちのリレー」がスタートしました。



開会式

大島実行委員長の開会宣言で今年のリレー・フォー・ライフも幕が開きました。開会式では、県知事、県議会議長、前橋市長にも心強いごあいさつをいただきました。ゆるキャラの皆さんも澄まし顔で参加してくれました。



ドキドキの事前準備

前日、当日の朝も霧雨が降っていて、雨具を手放せない中での準備となりました。無事に開催できるだろうか…と不安な気持ちもありましたが、晴れることを信じて作業を進めます。
皆さんが会場に集まるころにはすっかり雨も上がり、太陽も顔を出しました。気持ちの良い青空です！



ステージ

今年もリレーウォークに励むチームの皆さんを歌やダンス、太鼓などのパフォーマンスが盛り上げてくれました。流行の曲も、懐かしの曲も盛りだくさんなステージとなったので、リレーウォークをしながら、思わず口ずさんでいる方もいたようです。

フィールド・各コーナー

- フィールド内では、脳年齢や血管年齢といった測定コーナーに加え、県薬剤師会、県看護協会、県医療ソーシャルワーカー協会、群馬がん看護研究会の皆さんによる相談コーナーも設けられ、多くの方が訪れていました。
- 「迷子さんのお知らせです…」幾度か会場で響いた迷子放送。今年のリレー・フォー・ライフは小さなお子さんも多くいらしてくれた証拠でもありました。小さな頃からがんを身近なものとして捉え、楽しみながら学ぶことで、がんに負けない明るい未来が築けるのだと感じました。
- ふんわりといい香りに誘われてフードコーナーへ。おいしい食事でエネルギーをチャージです。夕方には無料配布のみそ汁を飲んで、身体も心もほっと温まりました。





今年で三回目になるリレー・フォー・ライフぐんま。初回に実行委員でお手伝いさせて頂きました。そしてこの三回目を迎える間に私も耳下腺癌の再発や肺への転移があってあわや、エンプティーテーブルに座っていたかもしれません。ですが、こうして三度目のイベントに参加でき、今年のイベントはまた特別な意味や感慨深さがありました。

再発時、手術の手立てが無く先進医療、重粒子治療の為、一ヶ月入院、その後肺の手術で数週間入院しました。その時、リレー・フォー・ライフのフィールドに患者さんらの思いがもう少し届けばいいなあ、と思った事が群馬大学病院でのリレー・フォー・ライフイベントの動機に繋がりました。群馬大学病院側に希望を伝え快く応じてくださり、大学病院スタッフの皆さんと一緒に院内の一部にルミナリエを飾り、夜の院内の足元を照らしました。

患者さんのご協力でフラッグの手形も完成。点滴を持って、或いは車椅子でオープニングセレモニーを見にきてくださって本当に嬉しかったです。

フィールドまで行けない患者さんの思いや願いを持って本番の RFL に参加できた事が私にとっては、意味があり目的でしたので願いが叶いました。回を重ねる毎に様々な医療機関や自治体も RFL に対する認識を深め、病があっても希望を持って共に進む事ができる社会環境が出来上がって欲しいと思います。

原 陽子



リレー・フォー・ライフの参加は2度目となります。

昨年は妻と一緒に、今年は一人での参加となりました。

当初、一人での参加は心情的に厳しいだろうと迷いましたが、妻の望みでもあった彼女のためのルミナリエを…との思いから何かしら会場での仕事を頂き身体を動かしつつということでボランティアの仕事を頂き参加させて頂くこととしました。

開始よりしばらくは切なさが強く会場に居ることが苦痛でしたが、当日私のペースとして受け入れていただいた「1・2の3で温泉に入る会」の皆様のご配慮、お世話になった館林厚生病院の方々からのお声掛け、またリレーウォークに参加された方々とサポートという形でふれ合い、多くの励ましを頂き24時間を迎えることができました。

勇気を出し参加した RFL でしたが、参加して良かったと思っています。スタッフの皆様、参加された皆様、お疲れさまでした。

佐藤 敦

私はリレー・フォー・ライフ・ジャパン2015ぐんまにおいて、リレーウォークのコースを夜間照らすルミナリエの準備や設置、点灯などのボランティア活動を通し、リレーウォーク参加者やがん患者・家族の方々に励ましました。

がんと日々向き合う患者・家族・医療者が書いたルミナリエの絵やメッセージには私自身も励まされ、またルミナリエ点灯後の光景にはとても感動しました。人が人を励まし、支え合うことは、本当に素敵なことだと再確認した一日となりました。

群馬医療福祉大学看護学部2年 久保 貴巴江

【がん征圧普及啓発活動】

群馬県健康づくり財団スペシャルタイトルマッチ開催 BCリーグ 群馬ダイヤモンドバックス×武蔵ヒートベアーズ

平成27年8月16日(日)高崎城南球場で、「がん征圧月間」の周知と「リレー・フォー・ライフ2015ぐんま」の開催告知を目的としたスペシャルマッチを行いました。



試合の合間には、当財団の職員による寸劇でがん検診の大切さを伝えました。

ピンクリボン運動を行いました

平成27年10月24日(土)グリーンドーム前橋で開催された第9回「ハワイアン in グリーンドーム～1000人フラ～」の会場で、県内がん患者会の皆さんに御協力いただき、がん検診受診勧奨のチラシ配布や、乳がん自己検診法の啓発活動を行いました。

また、乳がん撲滅のピンクリボンタイムでは、当財団の職員が乳がん検診に関する不安や疑問を解消する寸劇を行い、乳がん検診推進のPRを行いました。



ぐんま県民マラソンに 健康測定ブースを出展しました

平成27年11月3日(火)第25回ぐんま県民マラソンで、血管年齢測定と脳年齢測定を無料で実施しました。

今回からフルマラソンとなり、参加者も多く測定の列が途切れることがありませんでした。

当財団の職員も、フルマラソン1人、10kmに5人が参加し、全員完走しました。

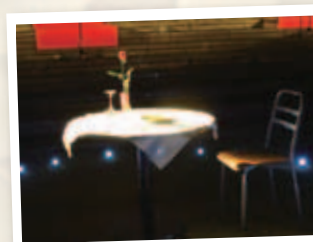


ルミナリエ

午後5時過ぎ。学生ボランティアやサポートスタッフの皆さんのご協力の下、幾重にも並べられたルミナリエに火が灯り、会場のあちこちから「きれいーい！」という言葉が聞こえてきました。

ろうそく特有のやさしい光がリレーウォークに励む人たちの足元を温かく照らします。自分の描いたルミナリエはどこかな?と探しながらかくのも楽しいですね。

空の上まで届きそうな、幻想的な光は翌朝まで会場を包み込んでいました。



エンプティーテーブル

ルミナリエの設置作業中、学生ボランティア同士の会話が聞こえてきました。「エンプティーテーブルって何?」「今日この場へ来れなかった人のための机とイス。その人たちを想って偲ぶセレモニーだよ。」「へえ～そうなんだ～」人から人へ。こんなふうに若い世代の皆さんにもRFLに込められた思いや願いが伝わり広がっていくのだなと実感した出来事でした。



2日目も元気に!

すっきりとした天気のは今朝は、みんなでラジオ体操!短い手足で一生懸命に体操するゆるキャラ達の姿に会場からは笑い声もちらほら。その他にも、繭玉体操といったご当地エクスサイズも教えていただき、楽しみながら心と身体のリフレッシュができました。

ファイナルラップ

いよいよファイナルラップ、24時間にわたるリレーウォークも終りを迎えます。

チームごとに記念写真をパシャリッ!皆さんの達成感あふれる笑顔が印象的でした。



閉会式

今年のリレー・フォー・ライフもついにフィナーレ!閉会式では、岡庭副実行委員長が「ぐんまからのメッセージ」を力強く発信し、会場にいる全員ががんには負けない群馬を目指そう!と気持ちを新たにしようと感じました。

見事、24時間リレーをつなぎきったのは69チーム中、過去最高の42チーム。

みなさん、大変お疲れさまでした!

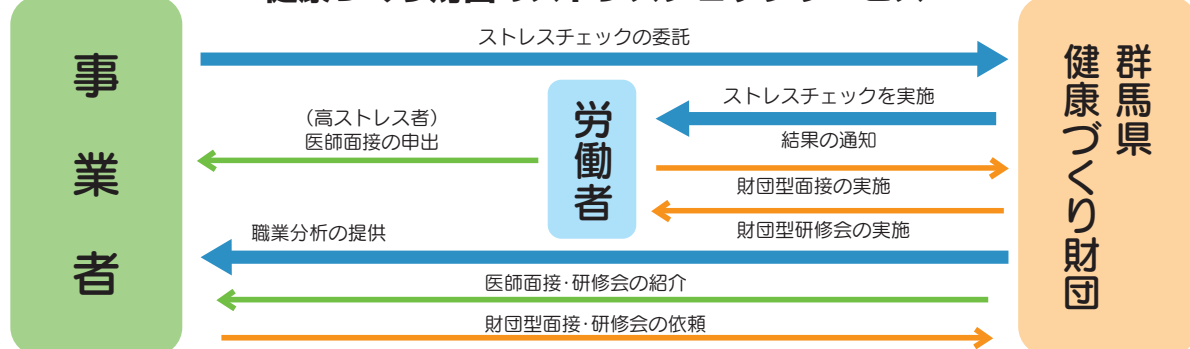
当イベントを通じて、企業、団体、個人の方から寄せられた協賛金、募金は総額5,738,841円でした。このうち実施経費を除いた金額は、公益財団法人日本対がん協会に寄付し、様々ながん征圧運動に役立てられます。

ストレスチェックのご案内

労働安全衛生法の改正により、平成27年12月1日から労働者数50人以上の全ての事業所にストレスチェックの実施が義務付けられました。（労働者数50人未満の事業所は努力義務）

ストレスチェック制度は、労働者のストレスの程度を把握し、労働者自身のストレスへの気付きを促すとともに、ストレスの要因となる職場環境の改善につなげるものです。そして、ストレスの高い者を早期に発見し、医師による面接指導につなげることで、労働者のメンタルヘルス不調を未然に防止することを目的としています。当財団でもストレスチェックサービスを開始します。お気軽にお問い合わせ下さい。

健康づくり財団のストレスチェックサービス



ストレスチェックは…

- ①仕事のストレス要因
- ②心身のストレス反応
- ③周囲のサポート

3領域に関する57項目の質問内容です。



臨床心理士による健康づくり財団の ～ 個別カウンセリングのご案内 ～

カウンセリング日時 第2・第4金曜日

予約申込み **027-269-7809**

予約受付時間 月～金曜日 9:00～17:00



お問合せ・お申込み

電話:027-269-7814 群馬県健康づくり財団 事業推進課

平成27年度

第3回 群馬県地域保健研究発表会を開催します。

この会は、研究発表を通じて保健衛生の向上を図り、県民の健康増進に寄与するため、また保健従事者の交流を目的として群馬県と財団が主催するものです。

研究発表事例の募集については、各関係機関に募集要項をお送りしますので、ご覧ください。

日時 平成28年3月18日(金)13:00～(予定)

場所 群馬県庁 28階281会議室

平成27年度健康づくり研究助成「あさを賞」募集します。

県民の健康づくりに役立つ調査研究に対する活動の助成事業「あさを賞」を募集します。

募集要領については、準備が整い次第、関係機関にお送りします。また、健康づくり財団のホームページに掲載いたしますのでご覧ください。